

報道関係者各位
プレスリリース

No. BM260318-01
2026年3月18日
株式会社リンク

**株式会社ラックが標的型攻撃メール訓練サービスの
配信基盤として「ベアメール メールリレーサービス」を採用
～～Gmail・Microsoft 環境への安定配信を実現～～**

メールを確実に届けることを支援するサービス「ベアメール」を展開する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、株式会社ラック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：村山 敏一、以下 ラック）に採用された事例を公開しました。



（写真 左から、コンサルティング統括部 セキュリティアカデミー 標的型攻撃メール訓練担当 乙部氏、コンサルティング統括部 セキュリティアカデミー 標的型攻撃メール訓練 グループリーダー 森田氏）

ベアメール メールリレーサービスは、IP レピュテーション（メール配信元の IP アドレスに対する信頼性評価）の高い高速配信エンジンを経由して配信することで、通信キャリアやメールプロバイダからブロック対象（迷惑メール）と認識されることを回避し、高い到達率を実現するサービスです。また、手厚いサポートも特長で、導入から運用まで豊富なナレッジを生かしたサポートを行うため、専門的な知識がなくても安心して利用することができます。

■導入前の課題

ラックが提供する「標的型攻撃メール訓練 T3」では、実際の攻撃メールを想定した疑似的な訓練メールで配信を行っていたため、送信元 IP アドレスやドメインのレピュテーションが低下する懸念がありました。その影響で、Gmail をはじめとしたメールサービスへの配信が一部失敗してしまうケースも見受けられました。標的型攻撃メール訓練では個人情報を取り扱うため、国内でデータ管理が行われ、かつ大量配信でも安定して届けることができるメール配信基盤を必要としていました。

■導入後の効果

ベアメールの導入により、大量配信を支障なく行えるようになり、訓練メールの不達が解消しました。メール不達に起因するトラブルや問い合わせも減少し、安定したサービス提供が可能になりました。管理画面で配信状況やエラーを即時に確認できる点や、判断に迷う場面でも相談できる手厚いサポート体制を評価されました。

■本導入事例の詳細

https://baremail.jp/case_studies/34_lac.php

■株式会社ラック 概要

企業名：株式会社ラック

代表：代表取締役社長 村山 敏一

本社所在地：東京都千代田区平河町2丁目16番1号 平河町森タワー

事業内容：セキュリティソリューションサービス、システムインテグレーションサービス、情報システム関連商品の販売およびサービス

URL：https://www.lac.co.jp/

ベアメールについて

ベアメールは「メールを確実に届ける」ことを支援するサービスとして、メールの高速配信・到達率の改善を実現する「メールリレーサービス」と、迷惑メールになる可能性や原因を診断する「迷惑メールスコアリング」を提供しています。お客さまの環境や状況に応じて2つのサービスを組み合わせることで、メール配信に関する運用の手間を削減し、到達率の改善を実現します。

サービスの詳細は、<https://baremail.jp/> をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホステ

ィング「リンクベアメタルクラウド」を軸として、9年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社イニシャル 大田、山崎、長岡、小山、亀田、乗鞍（株式会社リンク PR 事務担当） TEL : 03-5572-6316 / FAX : 03-5572-6065 / Email : link-pr@vectorinc.co.jp